

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成25年8月1日(2013.8.1)

【公開番号】特開2012-1514(P2012-1514A)

【公開日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2010-139959(P2010-139959)

【国際特許分類】

C 0 7 C 13/62 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

C 0 9 K 11/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 13/62 C S P

H 0 5 B 33/14 B

H 0 5 B 33/22 B

H 0 5 B 33/22 D

C 0 9 K 11/06 6 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成25年6月18日(2013.6.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

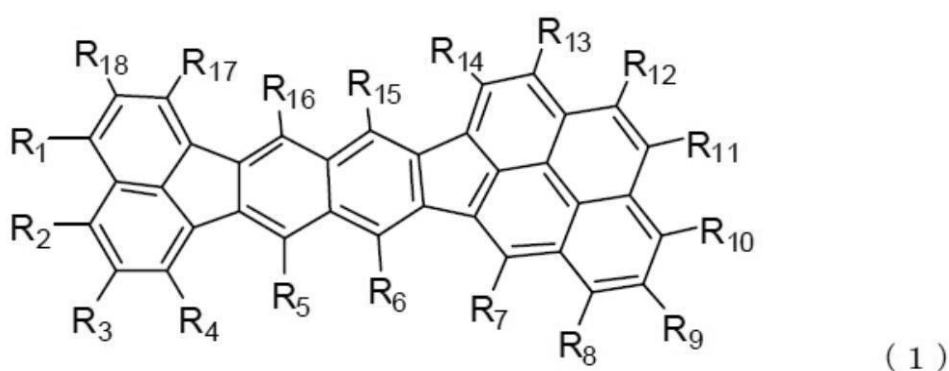
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

下記一般式(1)に示されることを特徴とする有機化合物。

【化 1】



式(1)において、

R<sub>1</sub> 乃至 R<sub>18</sub> はそれぞれ独立に水素原子、ハロゲン原子、アルキル基、アミノ基、アリール基、複素環基から選ばれる。

前記アミノ基は、前記アリール基または前記複素環基を置換基として有してよい。

前記アリール基および前記複素環基は前記アルキル基を置換基として有してよい。

【請求項 2】

R<sub>1</sub> 乃至 R<sub>18</sub> はそれぞれ独立に前記水素原子、前記アルキル基、前記アリール基から

選ばれることを特徴とする請求項 1 に記載の有機化合物。

【請求項 3】

$R_5$ 、 $R_6$ 、 $R_{15}$ 、 $R_{16}$  の少なくとも一つが前記アリール基であることを特徴とする請求項 2 に記載の有機化合物。

【請求項 4】

陰極と陽極と、前記陽極および前記陰極の間に配置される有機化合物層とを有する有機発光素子において、

前記有機化合物層の少なくとも 1 層は請求項 1 乃至 3 のいずれか一項に記載の有機化合物を有することを特徴とする有機発光素子。

【請求項 5】

前記有機化合物層は発光層であることを特徴とする請求項 4 に記載の有機発光素子。

【請求項 6】

緑色発光することを特徴とする請求項 5 に記載の有機発光素子。

【請求項 7】

複数の画素を有し、前記複数の画素は請求項 4 乃至 6 に記載のいずれか一項に記載の有機発光素子と前記有機発光素子に接続する TFT 素子とを有することを特徴とする表示装置。

【請求項 8】

画像を表示するための表示部と画像を入力するための画像入力部とを有し、前記表示部は複数の画素を有し、前記複数の画素は請求項 4 乃至 6 のいずれかに記載の有機発光素子と前記有機発光素子に接続するスイッチング素子とを有することを特徴とする画像入力装置。

【請求項 9】

請求項 4 乃至 6 のいずれか一項に記載の有機発光素子を有することを特徴とする照明装置。